

平成26年度水道事業決算の概要

地方公営企業である水道事業の経理は、水道水を供給するための経費と財源を表す「収益的収支」と、水道施設の建設・改良や企業債の元金返済に係る経費と財源を表す「資本的収支」の2つに区分し、複式簿記により行っています。

平成26年度は公営企業会計の基準の見直しが行われており、収益的収支においてその他の収入、減価償却費が増加しています。主要事業としては、上水道センターの遠方監視制御装置を山中浄水場に統合し、集中監視制御を行う水道施設統合整備事業が完了しました。

「収益的収支」では、前年度と比較して収益で給水収益が1,861万円減少し、費用で減価償却費が1億7,363万円増加したことなどから、純損失額が4,032万円となりました。

「資本的収支」では、建設改良費については、前年度比較で1億4,443万円減少し、支出全体では14億3,293万円となりました。

1. 収益的収支（税抜）

(1) 収益的収入（税抜）

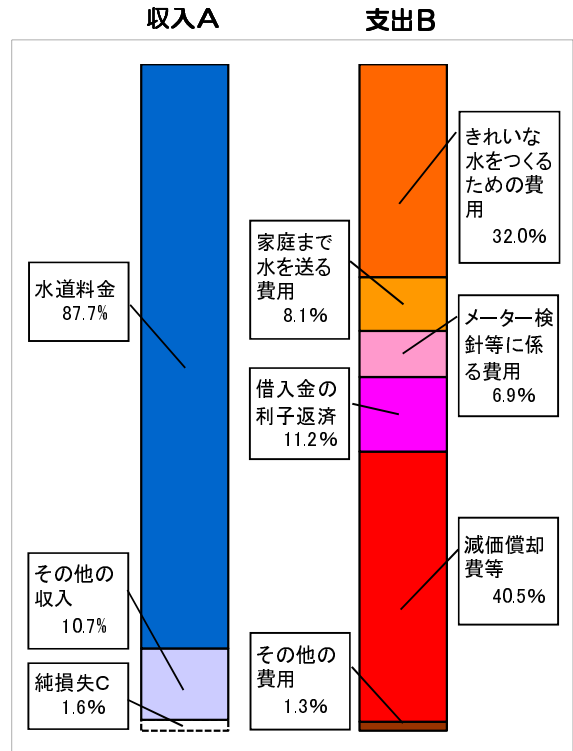
区分	決算額
水道料金	21億8,088万円
その他の収入【他会計負担金等】	2億6,644万円
合計	24億4,732万円 A

(2) 収益的支出（税抜）

区分	決算額
きれいな水をつくるための費用【原水及び浄水費】	7億9,470万円
うち県水受水費【受水費】	6億6,902万円
家庭まで水を送る費用【配水及び給水費】	2億33万円
メーター検針や料金収納等営業等に係る費用【業務費、総係費】	1億7,273万円
借入金の利子返済【支払利息及び企業債取扱諸費】	2億7,822万円
減価償却費等【減価償却費、資産減耗費、繰延勘定償却等】	10億873万円
その他の費用	3,293万円
合計	24億8,764万円 B

収益的収支差額（損失）※	Δ4,032万円 C (A-B)
---------------------	-------------------------

※収益的収支差額（損失）は、未処分利益剰余金にて充当しました。



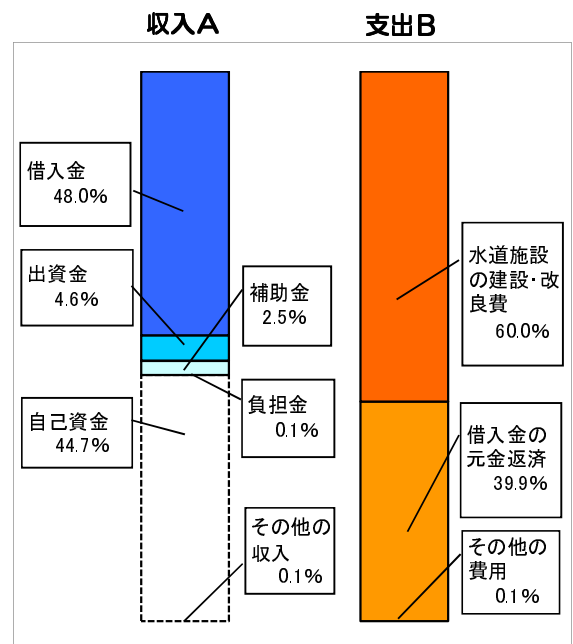
2. 資本的収支（税込）

(1) 資本的収入（税込）

区分	決算額
借入金【企業債】	6億8,710万円
出資金【他会計出資金】	6,602万円
負担金【工事負担金、他会計負担金】	109万円
補助金【他会計補助金、国庫支出金】	3,667万円
自己資金（内部留保資金※）	6億4,045万円
その他の収入【固定資産売却収益】	160万円
合計	14億3,293万円 A

(2) 資本的支出（税込）

区分	決算額
水道施設の建設・改良費【建設改良費、開発費】	8億6,012万円
借入金の元金返済【企業債償還金】	5億7,179万円
その他の費用	102万円
合計	14億3,293万円 B



※1 資本的収入のうち、前年度から繰り越した支出の財源に充当した額（企業債630万円）が含まれています。

※2 自己資金（内部留保資金）とは、現金を伴わない支出（減価償却費等）相当額や当年度以前の利益等です。

※3 収益的収入・支出、資本的収入・支出の区分欄の【】内は、決算書の科目名を表しています。